

Theme:

LINAC のパンチ波形

Reporter: E. Takasaki

Exp. Group:

Experimenters: Z. Igarashi, T. Kato, A. Takagi,
E. Takasaki

Members of Ope.:
左に同じ

Scheduled Period (Main, Sub, Para)

Actual Period (Main, Sub, Para)

6/19 A.M. 1° ~ 9°

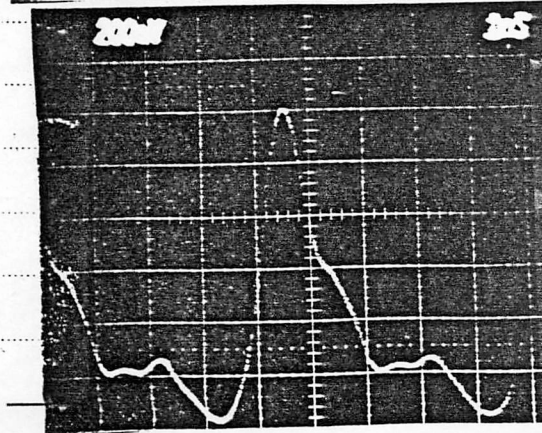
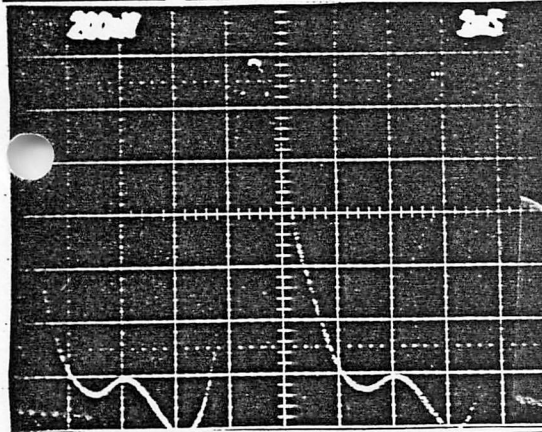
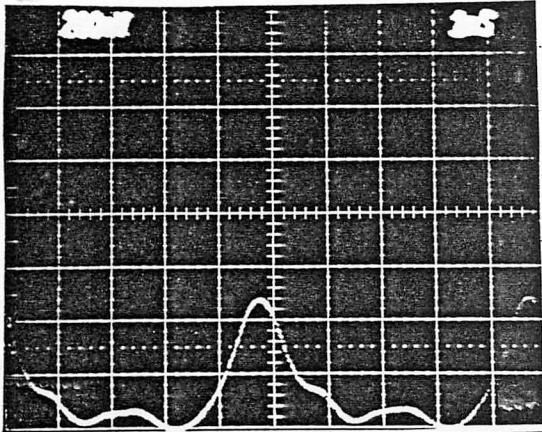
6/19 A.M. 1° ~ 6°30'

Machine Condition, Beam Condition etc :

良好 (Bend I 電源故障)

Summary of Study and Results :

20MeV line の matching section 後に、同軸型 ファラデー Cup を据付ける。



通常運転 (タンクレベル 5.96, IM-1 = 135mA) 時の
ファラデーカップからの出力波形を左図に示す。

上からビームの立ち上がり部, 真中付近, 終り頃の波形
である。(参考文献として, KEK-77-28 P.65)

波形の変化について, 今後タンクレベル,
prebuncher on/off, 及び phase の変化等との
関係を調べる。

momentum analyser system が, せいひ必要
である。特にタンク下流 5m 付近にモニターがあり,
波形に energy spread の効果も含まれる。